



2024年12月11日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 企画展「岩瀬俊一 展 架橋する鏡」をマーチエキュートで開催します！ ～HERALBONY Art Prize 2024 JR 東日本賞受賞記念～

- JR 東日本グループは、2024年12月11日（水）から、マーチエキュート神田万世橋内 JAPAN ART BRIDGE S1 区画にて、「岩瀬俊一 展 架橋する鏡 ～HERALBONY Art Prize 2024 JR 東日本賞受賞記念～」(以下、「本企画展」)を開催します。
- 本企画展では、株式会社ヘラルボニーが創設した国際アートアワード「HERALBONY Art Prize 2024」で JR 東日本賞を受賞した「インドネシアの景絵」をはじめ、岩瀬俊一氏の多彩な作品を展示します。
- 期間中にはライブペインティングなど、作家とアートを直接体感できるイベントも予定しています。創造性あふれるアートがもたらす特別なひとときをお楽しみください。

### 1. 開催の経緯

JR 東日本グループは、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けた活動の一環として、これまでさまざまな場面で株式会社ヘラルボニーとの共創に取り組んできました。障がいのあるアーティストの活躍の場を広げることを目的に、駅や鉄道車両といったグループのアセットを活用した展示や商品化を実現しています。

2024年8月に株式会社ヘラルボニーが主催した国際アートアワード「HERALBONY Art Prize 2024」において、「JR 東日本賞」が設定され、岩瀬俊一氏の作品が受賞されました。

このたび、「JR 東日本賞」を受賞された岩瀬俊一氏の作品を起用した企画展をマーチエキュート神田万世橋内 JAPAN ART BRIDGE S1 区画において開催することといたしました。

JR東日本賞受賞記念

HERALBONY



PRIZE



ART

岩瀬俊一展  
架橋する鏡



2024

2024.12.11 WED. — 2025. 1.13 MON.

@JAPAN ART BRIDGE



## 2. 展示会概要

### (1) 名称

岩瀬俊一 展 架橋する鏡 ～HERALBONY Art Prize 2024 JR東日本賞 受賞記念～

### (2) 会場

マーチエキュート神田万世橋内 JAPAN ART BRIDGE S1 区画

### (3) 展示期間

2024年12月11日（水）～2025年1月13日（月・祝） 11:00～20:00

（休館日：12月31日（火）～1月3日（金））

### (4) 展示作品

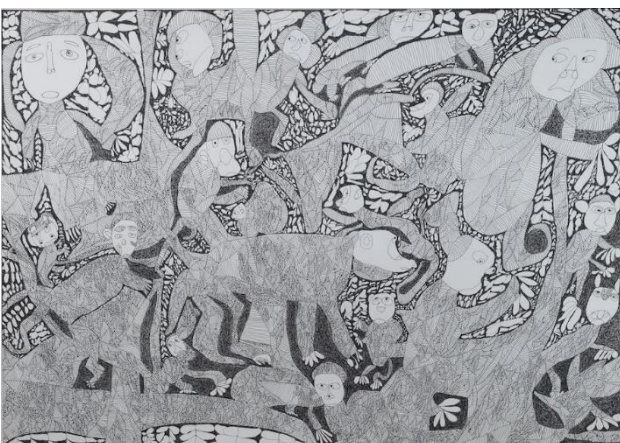
「インドネシアの景絵」、「サル」、「コーヒーを摘んでいる女の人」、「どうぶつ王国」、「きれいなお姉さん」の5作品

### (5) 入場料金

無料



作品名：インドネシアの景絵（「JR 東日本賞」受賞作）



作品名：サル



作品名：コーヒーを摘んでいる女の人



### 3. イベントのお知らせ「岩瀬俊一氏 ライブペインティング&トークショー」

岩瀬俊一氏によるライブペインティングと、岩瀬俊一氏が在籍する「やまなみ工房」施設長の山下完和氏による作品解説と工房の活動をご紹介します。

- (1) 開催日 2024年12月14日(土) 14:00~15:00
- (2) 参加費 500円

※お申し込み方法は、「JRE MALL ショッピング (JR 東日本運営の通販サイト)」をご確認ください。  
※ご参加いただける人数に限りがございます。

(<https://shopping.jreast.co.jp/products/detail/s336/s336-C010102>)

### 4. 作家について

#### <作家プロフィール>岩瀬 俊一 (いわせ・しゅんいち) 氏

1973 生まれ、滋賀県在住。2008 年から「やまなみ工房」に在籍ペンを用いて人物や動物等、モチーフが決まると彼独自の視点で余白を余すことなく、紙面全てにゆっくりと描きこんでいく。彼の内向的で真面目な性格が作品にも反映され描く線の一つひとつがとても丁寧で、まるで細い糸が絡み合っているかのように繊細に描かれる。日常では、ほとんど言葉も発することなく意見を求めても、顔を赤らめながら、か細い声で一言口にする程度しかない彼の作品からは、内に秘めた思い全てが放出され、訴えかける力強さに満ち溢れている。彼もまた自己を表現する術を作品制作に見出した 1 人であり、これからも彼の世界観は大きく広がっていきだろう。(やまなみ工房ホームページより引用)



#### <HERALBONY Art Prize 2024 JR 東日本賞 受賞者コメント>

僕は昔から電車がとても大好きで、電車を見るのが大好きで、僕が頑張って描いた作品が JR 東日本賞に選ばれ、とても嬉しかったです。インドネシアの景絵は、細かいところを頑張って描きました。これからも、いろんな場所で展覧会に出せるように頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

#### <JR 東日本コメント>

どんなときでも変わらず眺められる絵です。遠くからはにぎやかな色使いを楽しめ、近くで見るとあちこちに生物が見つけれ、眺めるたびに発見があります。たくさんの変化を皆さまにも感じていただけたと思います。

### 5. 株式会社ヘラルボニーについて

ヘラルボニーは、「異彩を、放て。」をミッションに掲げ異彩を放つ作家とともに、新しい文化をつくる企業です。国内外の主に知的障がいのある作家の描く2,000点以上のアートデータのライセンスを管理し、さまざまなビジネスへ展開しています。支援ではなく対等なビジネスパートナーとして、作家の意思を尊重しながらプロジェクトを進行し、正当なロイヤリティを支払う仕組みを構築しています。アートを纏い社会に変革をもたらすブランド「HERALBONY」のほか、商品や空間の企画プロデュース、取り組みを正しく届けるクリエイティブ制作や社員研修プログラムなどを通じて企業のDE&I推進に伴走するアカウント事業、あたらしい"常識"に挑戦する盛岡のアートギャラリー「HERALBONY GALLERY」の運営を行うアート事業など、多角的に事業を展開。さまざまな形で「異彩」を社会に送り届けることで、「障がい」のイメージを変え、80億人の異彩がありのままに生きる社会の実現を目指しています。

(公式サイト：<https://www.heralbony.jp/>)